

うひはたぶみ (初機踏)

H.A.M.A.木綿庵だより
第14号
2018(平成30)年2月26日
(編集発行 梅田正之 090-5042-7775)

綿の品質 — 数値化できる世界と出来ない世界 —

人に勧められるままに、木綿庵で栽培している綿の品質検査を受けました。繊維に関する品質検査は、日本ではほぼ「一般財団法人 ボーケン品質評価機構」によって行われているようで、2月初旬に大阪市中央区にあるボーケン大阪事業所を訪ね、検査を依頼してきました。

ちなみに、ボーケン品質評価機構とは、WEBサイトによると「前身である『財団法人 日本紡績検査協会』は、1948年12月6日、糸・織物を輸出する際の検査を行う専門機関として設立され、後に当時の輸出検査法の指定検査機関となりました。以来、日本の高度経済成長と共に紡績業界の品質向上、更には繊維製品を始めとする生活用品・服飾雑貨品等の品質評価業務を通して、業界全体の健全な発展に貢献し、安全・安心を提供してまいりました。そして2011年4月1日、一般財団法人への移行を機に『一般財団法人 ボーケン品質評価機構』と名称変更いたしました。」(「BOKEN」→「ごあいさつ」より)と紹介されています。

繊維製品とは異なり、私が持ち込んだ綿は繰り綿(くりわた：綿の実から種を取り除いたもの)でしたので、扱いは「原綿」となります。検査依頼項目は最も基本的な「HVI」を希望しました。HVIによって繊維の長さ、太さ、強さ、色相等の測定が可能です。検査結果は1週間ほどで届きました。検査費用は、和綿と洋綿の2種類で6,000円(税別)。

2017年産 H. A. M. A. 木綿庵の綿の品質検査結果 by ボーケン 2018.02.14

| | 繊維長(Len) | 織度/太さ(Mic) | 伸度/強さ(Elg) | 色相/反射率(Rd) | 色相/黄色度(+b) | 紡績性指数(SCI) |
|----|----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 和綿 | 0. 9 4 2 | 6. 6 4 | 7. 0 | 7 5. 3 | 9. 2 | 7 2 |
| 洋綿 | 1. 2 2 8 | 3. 9 2 | 7. 0 | 8 0. 2 | 7. 4 | 1 8 1 |

ただ、この数値だけで木綿庵の綿の特性をすべて語りつくせるわけではありません。当然のことながら他産地との比較が必要になります。それとともに、品質を語る上では、数値化できない世界も厳然としてあることを知っておく必要があります。

たとえば、いわゆる「オーガニック」もその一つです。オーガニックとは一般的には「有機栽培」「化学肥料や農薬を使用していない」というイメージで理解されているかと思いますが、コットンに関してはより厳格な世界基準が設定されており、しかも科学的なテストなどでオーガニックかどうかを判別することは不可能です。このことは案外知られていませんが、事実です。

極論すれば、「オーガニックコットン」というラベルを「信じる」しかありません。馬鹿げた話だと思われるかもしれませんが。でも、科学的データと呼ばれる数値も、それを信じることによって成り立っているにすぎません。詳しくはぜひ「日本オーガニックコットン協会」のWEBサイトをご参照ください。

----- Monthly Data -----

【天理やまのべ木綿庵】(問い合わせ件数 平成30年1月26日～平成30年2月25日)
兵庫県2、鹿児島県1

【H.A.M.A.木綿庵】(平成30年1月26日～平成30年2月25日)

メールを含む各種相談件数3、綿畑や作業場の見学を兼ねた事前申込済来庵者数1件3名

品質試験報告書

試験番号 20217071362

H.A.M.A. 主催 農 2018年2月14日

ご提出の試料に対する試験結果は下記の通りです

発行日 2018年2月14日

品名品番 2017年産 H. A. M. A. 木綿庵の綿

試験 一般財団法人 ボーケン品質評価機構 BOKEN 大阪事業所

数量 2 〒544-0002 大阪市中央区東土佐2-1-13 大阪国際ビルディング5階

TEL: 06-4209-1120 FAX: 06-4705-1125

試験項目: 織度、繊維長、繊維長均斉度、強さ、伸度、色相、色相/黄色度、色相/反射率、HVI、紡績性指数、縮率、縮率均斉度、縮率/伸率、縮率/伸率均斉度

試験方法: HVI SPECTRUM 1による

試験結果: 別紙の通り

試験項目の記号の内容

- SCI : 紡績性指数 (Spinning Consistency Index)
- Mic : 織度 マイクロネヤ法 マイクロネヤリング (Micronair)
- Mat : 成熟度指数 (Maturity Index)
- Len : 繊維長ファイブグラフ法 UHML in (Length)
- Amst : サンプル量 (Amount)
- Unif : 繊維長均斉度 % (Uniformity Index)
- SFI : 短繊維指数 (Short Fiber Index)
- Str : HVI 1.1 用ターゲツ強度 g/tex (Strength)
- Elg : 伸度 % (Elongation)
- Moist : 水分率 % (Moisture)
- Rd : 色相 カントンカラーメーター法 反射率 (Reflectance)
- +b : 色相 カントンカラーメーター法 黄色度の差 (Yellowness)
- C. Grade : カラーグレイド (Color Grade)
- Tr. Cnt : トラッシュの個数 (Trash Count)
- Tr. Area : 測定面積内に占めるトラッシュの面積比率 (Trash Area)
- Tr. Grade : トラッシュグレイド (Trash Grade)

試験環境: 温度20℃ 相対湿度49%

本試験結果はご提出の試料に関するものであって、適口を代表するものではありません。
本報告書の表紙または一部の印刷物(複製)には別紙が添付されます。
印刷物(複製)には本報告書の表紙が添付されます。



《打ち綿が届く》 — 平成28年産の木綿庵の和綿 —

平成30年2月21日、名古屋にある「丹羽ふとん店」さんから和綿の打ち綿が届きました。木綿庵では、収穫した実綿から種を取り出す綿繰り作業は、すべて木製の綿繰り機を用いて手作業で行っています。しかし、繰り綿を打つ「綿打ち」だけは業者さんをお願いしてきました。なぜなら、手作業による綿打ちには大変な労力と熟練した技が必要だからです。

昨年、これまで綿打ちをお願いしてきた業者さんから納品された打ち綿に、化学繊維が混入していたことがわかりました。糸に紡いで染めると、化繊が混入していれば一目瞭然です。色が均一には染まりません。そこで急遽、無理を承知で信頼できる丹羽正行氏に綿打ちをお願い致しました。丹羽正行氏は第5回ものづくり日本大賞における内閣総理大臣賞をはじめ、数々の賞を受賞されている、綿布団づくりにおける「現代の名工」の一人です。また、古式綿打ち技術の保存伝承にも取り組んでおられ、綿の世界では知らない人はいないのではないか、と思われるほど有名な方です。

なお、丹羽さんの打ち綿の特徴は、同じ機械打ちではあっても繊維の方向が揃っていない点にあります。今後は、この打ち綿を用いて糸を紡ぎ、機織りにかける予定です。木綿庵の畑で収穫した綿から機を織る日まで、あともう少しです。

〈自宅織機作品番号2 — 細状帯布を織り上げる〉 平成30年2月10日

整経から機掛けまでを復習する意味を兼ねて、経糸の本数が少ない細状帯布の製作に取りかかりました。整経作業は1月14日。織り上げは2月10日。整経長442.0cm

※経緯糸ともに20/3の紡績糸。一部併糸使用。経糸数112本。双羽。織幅6.0cm、布丈342.0cm。

写真左：丹羽正行氏より届いた打ち綿、中と右：機織り中の細状帯布



【綿の加工の作業記録】（梅田1人の作業量）

- ・糸車を用いての糸紡ぎ量（洋綿）

1月26日～2月25日（作業実日数25日）糸の総量176.5g（47.07匁）総時間361分（6時間01分）

※1分間≒0.489g 1時間≒29.3g（7.8匁）

※平成30年2月21日に糸車のツム先を交換。作業効率は格段に向上し、0.554g/mに上昇した。

【研修等の記録】

- ・平成30年2月4日 「奈良県立民俗博物館」（大和郡山市矢田町）を訪問、見学
- ・平成30年2月4日 藍染め工房「箱本館 紺屋」（大和郡山市紺屋町）を訪問、見学
- ・平成30年2月8日 「一般財団法人ボーケン品質評価機構 大阪事業所」（大阪市中央区）を訪問
- ・平成30年2月8日 「国立民族学博物館」（大阪府吹田市千里万博公園）を訪問、見学

【以下の写真は、左：藍染め工房 箱本館、中：箱本館の藍甕、右：国立民族学博物館の地機展示の様子】

